

氏名	金 田 道 弘		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 1850 号		
学位授与の日付	昭和62年12月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）		
学位論文題目	悪性腫瘍に及ぼす輸血の影響とその機序に関する研究		
論文審査委員	教授 寺本 滋	教授 木村郁郎	教授 粟井通泰

### 学位論文内容の要旨

輸血の胃癌術後生存率に及ぼす影響について検討した。術後1年目から5年目まですべての年で、輸血群の生存率は非輸血群に比較して有意に低下していた。また、癌進行度の因子が最も少ない stage I の5年生存率が輸血群で有意に低下していた。そこで、抗体産生反応に及ぼす輸血の効果についてマウスを用いて実験的に検討したところ、同種輸血後3週目と4週目に抗体産生能は有意に抑制されたが、同系輸血群では抑制されなかった。この脾細胞の抗体産生抑制活性は、プラスチックシャーレ非付着性細胞分画に存在し、Thy 1.2<sup>+</sup>, Lyt - 2<sup>+</sup>の細胞すなわち、suppressor T cell であることが明らかになった。以上の臨床的ならびに実験的研究により、輸血は担癌生体に悪影響を及ぼし、またその機序の1つとして、抗体産生系を介して免疫抑制状態を誘導することが判明した。

### 論文審査の結果の要旨

本研究は、悪性腫瘍に及ぼす輸血の影響とその機序に関する研究である。胃癌手術後の生存率は輸血施行群が非施行群よりも有意に低下し、またマウスによる抗体産生反応は輸血後有意に抑制されたが悪性腫瘍治療に際しての輸血の効果について重要な知見を得たものであって価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。